

令和5年度 第4回市民活動サポートセンター運営懇話会 会議概要

令和6年2月15日（木）18:30～20:10
横須賀市立市民活動サポートセンター

出席者	8名…小串、加藤、石黒、寛、小池、高澤、丸岡、山岸
欠席者	1名…村野
事務局	2名…地域コミュニティ支援課 山岸、里吉
指定管理者	2名…NPO法人 YMCA コミュニティサポート 沼崎、茂澤
傍聴者	0名

- 配布資料 1 利用状況、利用者の声
2 のたろんフェア 2024 報告
3 2024年度 事業方針計画（案）
4 新規・異動団体（令和5年11月～令和6年1月）リスト
5 令和6年度運営懇話会日程（案）

（その他）

- ・市民協働推進補助金・市民協働モデル事業公開プレゼンテーション案内
- ・サポートセンター事業案内チラシ

1 報告事項

1-（1）利用状況・利用者の声について

指定管理者及び地域コミュニティ支援課から、資料1-1及び1-2に沿って報告した。

（指定管理者：汐入について）

- ・利用者数については11月12月1月と上向きになっている。
- ・サポートセンターの利用状況として日中は賑わってきている。
- ・コピー機、印刷機の利用状況についても11月12月1月のところは順調に伸びている。印刷機の利用状況も予約も増えてきているので、チラシ作製や会合が増えてきていることが予想される。
- ・パソコン講座は現在低調でパソコン講座の需要がうまくマッチングできずに講座の開催が少なくなっている。講師ともパソコン講座の活性化について現在検討している。
- ・利用者の声のうち、針手芸をやっている団体の針の問題については、以前から針が落ちていることは非常に危険と認識しており、針を使う団体には利用表とは別に針を誰がどのスペースで使ったか、何本持ってきて何本持って帰るかを自己申告し、スタッフが帰る際にその周りを点検していた。しかし、それでも落ちていることがあるため、子どもが裸足で走った際にケガをする等の事故のリスクを考え、現在は針を持って来た人全てに受付表を1枚ずつ渡してスタッフと一緒にその場で確認し、帰る際もスタッフによる確認を行っている。この方法で今のところ、針の不足といった問題は起きていないのと、受付でしっかりと対応することで団体も持ち込む針の本数を限定するようになってきていることから、現在様子を見ているところである。

・1月の利用者の声で駐車場の割引をして欲しいという声があった。しかし、現在、駐車場との提携関係はなく、当施設は基本的に利用料のかからない施設であり経費的な問題もあるため、実施予定はない。

(地域コミュニティ支援課：久里浜について)

・利用者数は1月の時点で昨年度の実績を上回っている。
・利用状況の増については、4月からの制限撤廃やコロナが5類に移行したことがプラスに影響していると推測。
・料金収入については1月までの実績となるが、コピー機・印刷機ともに前年同月比で微減となっている。

(懇話会構成員からの質問・意見)

・パソコン講座の自主講座の定員は。
→機器の都合もあり、最大で3名である。(指定管理者)
・多目的ルームでのマスクの着用義務は。
→現在は特に義務はない。(指定管理者)
・マスク着用の基準はあるのか。
→利用者は任意。スタッフについては市のガイドラインに準じて市民対応があるため、マスク着用を義務付けている。(指定管理者)
・現在のパソコン講座のラインナップは。
→ワード、エクセルと初心者(初めてパソコンを触る人向け)の3コースである。(指定管理者)
・パソコン講座について、現時点で考えている次年度のアイデアはあるのか。
→現在の講師と打ち合わせした際、バリエーションを増やすなどカリキュラムの一新を提案したが、ワードとエクセルは基礎なので継続していく必要があり、それらを必要とする人、例えば町内会等の地域活動に使う人もいるので、そういった対象へ訴求をしてみてはどうかという話があったため、その意見を踏まえ検討していく。(指定管理者)
・パワーポイントの講座を追加してみてはどうか。
・のたろんフェアではパワーポイントを使ったPRもあるというアピールもできる。
・最近ではCanva(キャンバ)というパワーポイントに類似したオンラインで使えるプレゼンツールもある。
・ワード講座、エクセル講座という名称ではなく、用途別に講座を考え訴求したほうがよい。
・年賀状の宛名書きが出来る等、生活に直結しているとアピールになる。
・講座の受講にはお得感が必要である。
・パソコン講座で、チラシの作り方に関する講座を開催するという考えもある。
→いただいたご意見は参考にさせていただく。(指定管理者)
・以前追浜のコミュニティセンターを利用した際は車で行ったが、駐車料金は無料であった。
市民活動サポートセンターには駐車場がないと理解しているが、公共施設の駐車場利用の有料・無料の基準はあるのか。
→コミュニティセンター内の駐車場は市の敷地であるため無料であるが、市民活動サポートセンターは商業施設内のテナントの1つであるため、施設の駐車場利用には提携が必要となり、別途経費が発生する。(指定管理者)

・市の庁舎に併設している駐車場を利用した際には、駐車券の無料処理をしてもらえらるが、市の所有という理解でよいか。

→現在の市の駐車場（北口駐車場）については、（一財）シティサポートよこすかが所有しているため、市は当該団体と提携することで市役所に用務で来庁した方への駐車券の無料処理を行っている。（地域コミュニティ支援課）

1 - (2) のたろんフェア 2024 報告

指定管理者から資料 2 に沿って報告した。

（指定管理者）

- ・参加団体として YouTube での参加が増えたため最終的な参加団体数は 104。2 日間の一般来場者数は 2140 人。昨年が 2 日間で 1006 人だったので倍くらいの数となった。
- ・今年は 4 年ぶりに外の店舗で飲食販売も復活した。飲食調理の販売の団体が過去よりも少なかったが、やはり飲食ブースがあるかないのでは全然雰囲気違って、食べるものがあるイベントはよいと感じた。
- ・館内のフリーマーケットと活動紹介パネル展示は土曜日と日曜日の入れ替え制にした。団体が密にならないように土曜日あるいは日曜日の 1 日どちらかを選んでの参加とした。ただし、外のブースに関しては、どちらか雨が降るかもしれないリスクがあるので 2 日間の参加とした。
- ・募金活動については、事前の申請が必要であったが、今回は 1 月の能登半島地震の復興支援の募金を行うという団体が比較的多かった。
- ・スタンプラリーと実行委員会企画は子どもにも大人にも好評だった。
- ・飲食ブースがあるということで、SDGs 企画として、使用済み割りばしのリサイクル（再生紙）を実施したが、副次的な効果としてイベント内で出たごみの分別がしやすくなっていた。

（懇話会構成員からの質問・意見）

- ・市民活動団体が活動の成果を発表することができ、また、団体同士が交流し、情報交換の良い場となっていた。
 - ・今回フェアには参加していないが、交流会に参加できるか。
- 参加団体交流会なので対象は参加団体を想定している。次回以降については、実行委員と検討したい。

（指定管理者）

- ・SDGs プロジェクトとして実施した割りばし回収については、専用の箱での回収であったため、他のごみの入った袋が破れないという効果もあったように思われる。
 - ・今年は外のブースの入りが少ない時間帯が多かった。汐入駅からの導線があるとよいと思った。
 - ・どぶ板バザーとの同日開催であったが、どぶ板バザーの観光バスの駐車場が横須賀中央側であったようで効果が薄いように思われる。
 - ・1 日交代の参加も新しいアイデアだと思うが、2 日連続して出たいという団体もある。
- そういった団体があることは承知しているが、逆に 1 日の参加でありがたいという意見もある。混在させると参加団体の管理が煩雑になってしまうことが懸念される。今回の参加団体からのアンケート結果も踏まえ実行委員と検討したい。（指定管理者）
- ・来場者にどちらか 1 日の開催ということがうまく伝わっていない場面が見られたのでその点についてはケアが必要と感じた。

- ・団体の作った作品について熱意をもって説明してくれるところもあった。新しい団体もいて色々な考えに触れることができ勉強になった。
 - ・当日は近隣の専門学校等でもイベントを実施していたようなので、そういった周辺施設と連携できるとよかった。チラシ等は市内の金融機関にも置いてもらえるといい。
- 現在湘南信用金庫とかながわ信用金庫にはパンフレットを置いてもらっている。その他については今後検討したい。(指定管理者)
- ・例年フェアの開催日は、バレンタインデーに近い日となるので、バレンタインデーにちなんだ企画を考えてみてはどうか。
- 来年度の実行委員と相談する。(指定管理者)

1－(3) 令和6年度事業方針計画(案)について

指定管理者から資料3に沿って報告した。

(指定管理者)

- ・来年度は5期のうち3期目ということで折り返しとなる。
- ・ハード面については、今の状況に即した上で、安全・安心な施設運営のための計画を立てている。
- ・施設としてロビーワークが一番大事と考えており、受付にただ座っているだけではなく、受付から出て利用者とのコミュニケーションを図る、スタッフ研修を定期的の実施し必要なスキルをきちんと身につけ、利用者の声をフィードバックしながら運営をしていくといった計画としている。
- ・キッズコーナーでの情報発信については、キッズコーナーだけは市民活動のための施設利用でなくとも、子連れでちょっと遊ばせて欲しいとか休ませて欲しいといった利用を認めている。なお、当該コーナーには壁に子育ての情報をたくさん掲示し、それらが目に付きやすくなるという工夫がしており、利用者には必要な情報提供するとともに、それをきっかけに、ボランティアや子育て支援の活動に興味を持ってもらえればという思いがある。来年度も引き続き実施していく
- ・その他の事業についても、記載のとおり実施していく予定である。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・事業計画の方針の記載内容で「生き生き」という表記があるが、意図があってその表記としているのか。通常であれば「いきいき」という表記がふさわしいように思う。
- 表記については改める。(指定管理者)
- ・SNSの名称が古いものがある。
- 表記については改める。(指定管理者)

2 議題

2－(1) データベース登録団体と公益性の判断について

指定管理者から資料4に沿って前回以降の新規登録・異動団体について説明した。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・特になし

3 その他

3－(1) 令和6年度運営懇話会開催日時について

地域コミュニティ支援課から資料5に沿って説明した。

(地域コミュニティ支援課)

- ・現時点では記載の予定とさせていただきます、8月以降の日程は、5月の第1回懇話会で調整したい。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・特になし。

市民協働推進補助金公開プレゼンテーションの案内について

地域コミュニティ支援課から資料について説明した。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・特になし。

市民活動サポートセンター主催事業の案内について

指定管理者から資料について説明した。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・特になし。

連絡事項

(地域コミュニティ支援課)

- ・令和6年2月18日に開催予定の市制施行記念式典の市民表彰において、市民公益活動に貢献された団体として、運営懇話会でご意見をいただいた候補から指定管理者から推薦があった「認定NPO法人WE21 ジャパンよこすか」「ヨコスカママナビ」「横須賀ユースホステル協会」が表彰予定。

以上